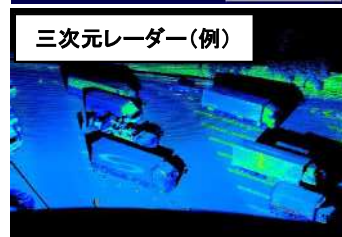
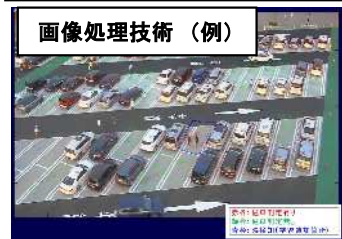


新たな技術を活用した混雑状況の提供 ～混雑状況の情報提供による、利用の平準化を推進～

- 休憩施設の混雑分散を促し、利用平準化を図るため、東北自動車道 阿武隈PA～菅生PA間において、画像処理技術等の新たな技術を活用した混雑状況の情報提供に向けた工事を推進
- 三次元レーダーを用いて取得したデータを活用し、車両の位置情報や車両サイズをリアルタイムに把握することで、混雑状況を判定する技術の導入を検討
- 混雑状況は本線や休憩施設内で提供しているほか、各社HPでも確認が可能
混雑状況を参考に休憩施設の利用平準化にご協力をお願いします

◇ 満空情報板による休憩施設混雑状況の情報提供

■ 新たな情報技術を活用した休憩施設混雑状況の情報提供



情報提供



各社HPから
混雑状況の確認
が可能



休憩施設の混雑状況を本線上や休憩施設内で情報提供を行っていますが、スマートフォン等でも混雑状況の確認が可能。

その他、

- ・道路交通情報(事故・渋滞・落下物等の情報)
- ・渋滞予測
- などの情報も確認が可能。

【ドライブトラフィック(ドラとら)】: 東日本高速道路株式会社

<https://www.drivetraffic.jp/>

【中日本ハイウェイ交通情報】: 中日本高速道路株式会社

<https://www.c-ihighway.jp/pcsite/>

【ハイウェイ交通情報(iHighway)】: 西日本高速道路株式会社

<https://ihighway.jp/pcsite/>

※運転中のスマートフォン操作はお控えください。

新たな情報技術により、車両の有無を検知

【画像処理技術の活用】

- ・カメラを活用して休憩施設の混雑状況を把握し、駐車マスにおける車両の有無を検知。

利用平準化に伴う確実な休憩機会を確保

【三次元レーダーの活用】

- ・カメラ画像処理で苦手とする荒天時や夜間においても高精度に休憩施設の混雑状況の判定が可能。

ドライブトラフィック(ドラとら)